

猛禽類レスキューのその後 ～野生生物保護センターの活動を知ろう～

6月14日（土）4名のこどもレンジャーがイベントに参加してくれました！

株式会社猛禽類医学研究所 副代表 渡邊有希子 先生、獣医師 児島希 先生、研究員 清水萌花 先生を講師に迎え、バックヤードツアーを行いました。バックヤードツアーの前には、野生生物保護センターの活動について説明を受けたり、バックヤードツアーでは普段は入ることができないケージ内に特別に入らせていただき、ケージ内の窓ふきや、餌やり体験などを行いました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました🌟

① 開会式の様子 講師の紹介や当日の行程の説明などをしました。



② 渡邊先生より、野生生物保護センターの活動について、説明を受けました。保護した後治療をし、野生復帰を目指してリハビリをする姿だけでなく、先生たちは猛禽類がケガをした原因も調査しているとのことでした。



- ③ 館内の見学では、清水先生、児島先生から説明を受けました。館内から猛禽類を観察できる場所があり、夢中になって猛禽類を観察していました。



- ④ バックヤードツアーに参加しました。児島先生の説明を受けながら、小窓からバックヤード内にあるオジロワシやオオワシ等を観察しました。また手術室の前で、実際の治療の際に使う道具をつけてみたり、ワシの人形を使って治療道具の使い方を教えてもらいました。



- ⑤ 今回は特別に、バックヤードの中に入り、窓の清掃やエサやりの体験を行いました。窓の清掃は猛禽類がいるケージの中からと外からの清掃を行いました。エサやり体験ではホッケを用意し、エサ置き場に設置しました。ワシたちがエサを食べるところを観察するため、しばらく外で待機しましたが、ワシたちは緊張したのか、エサを食べている様子は観察できませんでした。また、体験終了後には、特別に手術室の中に入り、オジロワシの幼鳥を間近で観察させていただきました。こどもレンジャーは、真剣に取り組んでいる様子でした。



⑥ 閉会式の様子 参加していただいたこどもレンジャーの皆さんに一人ずつ今日の感想や学んだこと、疑問に思ったことを発表してもらいました。講師の先生から学んだことを発表している姿は、とても素敵でした。ご参加いただきありがとうございました🌟

